

Press Release

2015年9月7日

プリンシパル・グローバル・インベスターズ株式会社

資産運用ビジネスに関する調査レポート CREATE-Research 2015

“Pragmatism Presides, Equities and Opportunism Rise”発表

(現実主義の支配 ～株式上昇とご都合主義的な解釈の拡大～)

～ リスク回避型の投資家は、株の「債券化」(Bondification of equities)でリターンを追う ～

プリンシパル・グローバル・インベスターズ社(米国、アイオワ州)ならびに親会社であるプリンシパル・ファイナンシャル・グループと英調査機関 CREATE Research 社(英国、ロンドン)は、本年度で7回目となる資産運用ビジネスに関する共同調査を実施し、「CREATE-Research 2015:Pragmatism Presides, Equities and Opportunism Rise (クリエイト・リサーチ 2015:(現実主義の支配 ～株式上昇とご都合主義的な解釈の拡大～)」を発表しました。この度、日本語翻訳版が出来ましたので、お届けいたします。(オリジナル英語版は2015年6月22日に英国で発表)

本年度は、日本も含む世界29ヶ国で、705の年金プラン、政府系ファンド、年金運用コンサルタント、資産運用会社およびファンド購入者を対象に行いました。調査対象の運用資産規模は26.8兆米ドル(3,100兆円余)に上ります。

本調査は、「金利が人工的に押さえつけられている今日の環境下で、株の時代と株式リスク・プレミアに関する最新の考え方」と、「様々な投資家グループは、今後3年間でどの資産クラスを選好しそうか」についての論点から実施しました。

当レポートによれば、Pragmatism(現実主義)は、世界的に投資家が注目する新しいワードになっています。債券の評価が記録的に高い中、株信仰が既に終わったと信じているのはわずか4%です。

3分の2の回答者は株を好ましく思っており、70%の回答者が、投資家が追っているのはリターンであり、資産クラスではないと考えていることから、ほぼゼロ金利の現環境の中で何が投資先として良いのかを探ることが今日の投資だと考えています。

以下は「CREATE-Report 2015」の主な調査結果です。

(詳細は、http://www.principalglobal.jp/market/market_report_20150907J.pdf をご覧ください。)

● 現実主義(Pragmatism)は投資家の株への欲求を先導

- 79%の回答者は「株の時代」が終わったとは考えておらず、わずか4%のみが終わったと考えている。
- 地域による株への支持は、北米88%、アジア81%(日本を除く)、ヨーロッパ72%、日本59%と地域によって差がある。
- 回答者の63%が株式は今後も投資対象としての魅力を維持。

● 今後3年間を見据えて株式についてどう考えるか

- 65%の投資家は、利回りが低い間は株式への魅力を維持
- およそ半数の回答者は債券から株式への循環買いが起きると考える
- 30%近くの投資家は、年金の投資先で株式が増えると考えている - 損失を埋めるために株式に頼る

- 回答者の70%は、投資家は資産クラスではなく、リターンを追うと考えている。
- 今後3年間で主要資産はどの程度の年率リターンを達成しそうか
 - プライベート・エクイティ(7.5%)、他の高評価の資産クラスには、オルタナティブ・クレジット(7%)、新興国株(7%)、小型株(6.5%)、グローバル株式(5.5%)
- 資産価格を変動させる要因は
 - 世界経済の成長見通し～グローバル経済における緩慢で均等でない成長(83%)
 - 米国の量的緩和策の終了～金利値上の期待からくるネガティブな影響(55%)
 - 欧州での量的緩和の開始～低金利の継続(54%)

プリンシパル・グローバル・インベスターズ社の日本法人、プリンシパル・グローバル・インベスターズ株式会社、代表取締役の板垣均は、今回のレポートに関し、次のように述べています。「当レポートも今回で7回目となりました。世界中の投資家にヒアリングを行い、今後、市場で大きな影響を及ぼす要素についてなど調べました。国内の資産運用に携わる方々にとっても、示唆に富む有益な報告書が出来たと考えております。」

レポートの詳細は、別紙または URL よりご覧ください。なお、本調査報告書は日本語版ですが、あくまで参考訳であることをあらかじめご了承ください。内容の厳密な理解にあたっては、原文(英文)をご参照ください。下記 URL の原文が正式文書です。<http://create.principalglobal.com/>

CREATE-Research について

CREATE-Research は、グローバルな資産運用における戦略変化や新たなビジネスモデルを専門とする独立系シンクタンクで、著名な金融機関やグローバル企業が託す重要研究課題に取り組んでいます。また、同社は、欧米の企業や組織幹部への助言や、研究活動を行っており、その研究内容は話題性のあるレポートやメディア注目度の高いイベントを通じて広く認知されています。より詳しい情報については、<http://www.create-research.co.uk> をご覧ください。

プリンシパル・グローバル・インベスターズについて

プリンシパル・グローバル・インベスターズは、プリンシパル・ファイナンシャル・グループ¹の資産運用部門で、株式、債券、不動産の3つの異なるアセットクラスの金融商品に加え、投資一任契約および投資顧問契約に基づく専門性の高い運用サービスを、世界の年金基金、機関投資家等のお客様に提供しています。プリンシパル・グローバル・インベスターズの運用資産総額は、2015年3月末現在、3,429億米ドル(約41兆円²)にのぼります。より詳しい情報については、<http://www.principalglobal.jp/> (日本語)、または <http://www.principalglobal.com/> (英語) をご覧ください。

プリンシパル・ファイナンシャル・グループ(PFG)について

プリンシパル・ファイナンシャル・グループは世界有数のグローバル金融サービス機関であり、傘下の会社を通じて個人や法人の投資家に対してリタイアメント・サービス、資産運用、保険等の様々な金融商品ならびに サービスを提供しています。プリンシパル・ファイナンシャル・グループは米フォーチュン誌「フォーチュン500」の一角を占め、アジア、オーストラリア、ヨーロッパ、ラテンアメリカおよび米国に配置された世界の拠点から総額5,303億米ドル(約64兆円²)に上る資産を運用しています。

プリンシパル・グローバル・インベスターズ株式会社 (<http://www.principalglobal.jp>)

〒100-0011 東京都千代田区千代田 1-1-1 帝国ホテルタワー11階 TEL:03-3519-7880 (代)、FAX:03-3519-6410
代表者:代表取締役社長 板垣 均
金融商品取引業者登録番号:関東財務局長(金商)第462号
一般社団法人日本投資顧問業協会 会員番号:第011-01627号

この件に関するお問い合わせ先:

プリンシパル・グローバル・インベスターズ(株) 広報代理:共同PR株式会社(市川/藤芳 Tel: 03-3571-5326)

¹ 「The Principal Financial Group®」および「The Principal®」は、プリンシパル・ファイナンシャル・グループのメンバーであるプリンシパル・ファイナンシャル・サービスズ・インクの登録商標です。

² 1米ドル=119.925円で換算。2015年3月末現在。